

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和4年10月23日（日）午後2時～3時30分
場 所 鶴ヶ岡分館（鶴ヶ岡四丁目町会）
参加者 17人



主な意見等

参加者 尚美学園大学の跡地の前は、バスやトラックの交通量が多く、家が揺れます。道路課にお願いして補修してもらい一時的に改善されましたが、それでも揺れていて「この道路はもともとバスが通る想定ではないので、舗装を張り替えないといけない」と言われました。バス会社に聞いたら「徐行することになっている」という回答でしたが、運転手が分かっているのかスピードが出ています。何回か言ったら収まるようになりましたが、トラックも通るので家が揺れる状況です。徐行を徹底させるなど、何とかできないでしょうか。

市 長 道路の振動は大きな車が通ると起こりますが、道路の補修をしても段差が解消されていないこともあります。幹線道路と普通の道路とで路盤が違いますが、確認し、振動改善に向け道路課と協議します。大きな事業になるかもしれないので、持ち帰って検討させていただきます。

参加者 私が2市2町合併推進協議会のスローガン「若い夫婦が住みたくなる街」というのを考えたのですが、魅力として教育水準の高い地域にすれば若い夫婦に住んでもらえるので、公立小・中学校からAランクの大学に入れるよう、教育レベルを上げてほしいと思います。

市長 素晴らしい構想であり、目指すべき政策展開だと思います。私も子育てしたいまち、子ども優先のまちづくりをスローガンに掲げています。地域間競争、持続可能なまちづくりのために教育水準を上げることは大切だと思います。若い人たちに移り住んでいただくためには効果があると思います。一般会計に占める教育費の比率は西部教育事務所管内でも、ふじみ野市が一番だと思います。しかし、一番大事なのは環境を整え、教育を推進するということです。公立学校に入れるなら、ふじみ野市の学校に入れたいと思われる市にしたいと考えています。

参加者 4点確認させていただきます。知り合いの高齢者が市役所に電話をすると、職員が「ホームページに詳しく載っているので、そちらをご覧ください」と回答されました。見れないから電話してるんじゃないかと思います。また、大井総合福祉センターの3階にある障がい者相談センターがあります。そこで職員が大きな声で、口論のケンカをしていました。そのフロアは開けっ放しのフロアで、よく聞こえました。そういうことについて、どのような考えでしょうか。

市長 好ましくないと思います。正規職員だけでも630人、パートを入れると約1000人いる中で、口論の情報は聞き及んでおらず、私が行ってもそのときケンカしてないと分からないということもあります。

そのような意見の相違をぶつけ合って、大声を出して口論するような姿勢を市民に対して見せるのはあるまじき行為だと思います。高齢者の電話での問合せについては、前後関係がある中でだとは思いますが、高齢者の方が問合せをしていると理解している前提があるならば、ホームページを見てくださいというのは好ましくないと思います。

参加者 詳しくはホームページに載ってますからっていう声があればいいですけど、最初からホームページに載ってますっていうのはあり得ないです。

市長 まずは説明して、ホームページに詳しくあるという説明をするべきだったと思います。ここでの意見は他の職員にも伝わりますので、私たちが記録を作って各部署と関連しないところも含めて伝えます。ふじみ野市ではご高齢者の方々がスマートフォンでの取り扱いが難しいの

であれば、アナログ形式のクーポン券と併用することとしています。コストがかかってしまうし、時代遅れという声もありますが、丁寧に教えていく、あるいは分かりやすく伝えていくことを基本としていますので、職員がそういうお答えをしたということは、残念です。

参加者 今のお考えが末端の職員まで伝わってないということです。

市長 市長の思いが全て伝わっている職員だといいいんですけど、なかなか難しいです。私は元々が商店街の小さな商店でしたので、お客さんに嫌われたら、もう来てもらえないんです。よく職員たちにも言いますが、市役所は職員が気に入らなくても、市役所に行かなければ手続きできないこともあります。そういう場所だということは考え方として伝えていますが、なかなか浸透しきれていないと感じました。私も力不足かもしれませんし、言い訳のようになってしまっていますが、一人で職員を教育している訳ではないので、残念だという思いです。

参加者 3点目にクーポン券について、使えない商店でクーポン券を扱わない理由を聞いたところ、お釣りが出ないと記載されているのにお釣りを出せというお客さんとのトラブルの際に市役所に相談したら「それはそちらで解決してください」と全く相談に乗ってもらえなかったもので、今年はやらないと言っていました。そういった相談場所は確保されていないのでしょうか。

市長 産業振興課が、商工会とともに対応しています。相談できる場所がなかったということかもしれないですが、私も商店街で今までクーポン券とか金券の取り扱いをやってきました。今あったお話の内容ですと、それはお店の現場で個々に対応すべき内容だと考えます。

参加者 4点目に、私は市民大学ふじみ野でスマホ教室の講師をしています。ふじみ野市の市報も、デジタル、スマートフォンの中でも見れるという教材の資料にしたいと思い、広報広聴課にホームページにQRコードの掲載を依頼したところ「ホームページを見ながら、QRコードを撮ることはないので、市のホームページにQRコードを載せることはしない。市民大学の教材で使う場合、自分でQRコードを作ってください

い」と言われました。私は電話を切ってから、市民としてお願いしているのにどうして受け入れてくれないんだろうと思いました。市報の最後のページに URL が載っているので、ここに QR コードを貼っていただければ良いと伝えましたが、「それもできません」と言われました。市民大学で教材として使いたいからお願いしたにも関わらず「時間の無駄、資料の作成であれば担当部署を通してください」という対応でした。市民に寄り添ってないのではないのでしょうか。

市 長 これらのようなことが事実であれば大変失礼であり、お詫びします。しかし、個別の事由を言われてもお詫びするしかありません。これを改善するのが私の仕事でもあります。以前の市役所に比べて全然変わったという意見は圧倒的にいただきます。結論はどのようなことでしょうか。

参加者 最低でも市報に QR コードを入れてもらいたいというのがお願いです。

市 長 おそらく選択肢が広がるのだからプラスにはなるのですが、紙面の調整等あると思いますので簡単にはいかないと思います。

参加者 ホンダ学園の裏の道が警察も取り締まりしていますが、危ない状況で一方通行の要望も出しましたが、実現していません。警察も週に2回程度立っていますが、危ない運転が多いので調査して、何とかしてもらいたいと思っています。

市 長 規制をかけるのは警察経由で県の公安委員会です。一方通行の要望ですが、一方通行にした後に、こんなはずじゃなかったという場合があります。一方通行にしますと交互通行のときと比べて、車両はすれ違わなくて済むので車両速度が上がると同時に、台数も増えます。地元からこのような声があるというのは伝えたいと思います。

参加者 鶴ヶ丘小学校のグラウンドのトイレが直りません。

市 長 今年の予算に計上されていたはずなので確認します。

参加者 憩いの森は、グラウンドゴルフで15団体程度が使っていますが、いつごろから利用できますか。

市長 ナラ枯れ被害があり寒い時期でないと伐採できません。倒木したり折れたりする恐れがあるので、その間は工事ができません。反対側の聖路加国際病院の方も同日に伐採する計画をしています。ご迷惑をおかけしますがご辛抱いただきたいと思います。

参加者 大井弁天の森にある砂川堀の桜が伐採され景観が悪くなりました。美観として重要で、高齢者が散歩するところでもあります。実用上と見栄え、兼ね合いが難しいと思いますが何か対応を考えてください。枝を全部切ることにはなかったのではないですか。

市長 弁天の森は現地にも説明書きを掲示しましたが、樹木医によると病気や日照不足による倒木などの恐れがあるので、一部を伐採しました。周辺住民に話をしたら怒られましたが、丁寧に説明をし、納得してもらいました。枝を残しておくとも重さで倒れてしまうので、専門家の意見を聞きながら行っています。

参加者 社会福祉協議会と接していると、高齢者はITができないという前提で話が進んでいます。ちょっとした連絡事項もメールでできません。国を挙げてIT化を進めているので市としても進めていくべきだと思います。スマホ教室の頻度、定員がいっぱいなことがあるので広げてもらいたいと思います。

市長 基本的な考えとしてはIT化を進めるべきだと考えています。全ての高齢者がITを扱えない訳ではなく、高齢者でも使いこなしている方はいらっしゃいます。ただし、今は移行期で、IT化についていけないという人の漏れがあってはいけないと思います。一定期間の移行期は、並行してアナログも使い、できない人を置いていくことのないようにしたいと思います。

参加者 デジタル化については、公民館、市民大学、町会とやり方がバラバラ

です。できない人たちに向けて、市を挙げてやっていただく施策を作ってもらえれば一番話が早いと思います。ふじみ野市が主導でやってもらいたいです。

市長 私はアナログとデジタルとを並行して進めるべきだと考えていますが、職員が数名しかいないところで並行した事務を進めるのは、なかなか難しいです。国でも都道府県でも市町村でも私の号令でそのように進めるというのは非常に困難です。具現化するのは難しいですが、進めてまいります。

参加者 3000円のクーポンについて、1人3000円と一律で配っていますが、所得の多い方や少ない方がいる中で不公平ではないでしょうか。所得制限を設けるなどはしないのですか。

市長 他に所得の制限を設けている制度はあり、クーポン券については所得制限を設けず、なるべく公平に行いました。

参加者 社会福祉協議会では、歳末見舞金を実施していますが、困っている方でも、心情的に申し込みができない方がいます。一斉に行うことはできないのでしょうか。民生委員をしています。家計状況もわからないため勧めることはできません。

市長 意思を尊重するしかないと思います。ご自身の意思なので周りから伝えることはできないでしょうし、そういう方を何とかできないかというご厚意でご発言いただいていると思いますので、その気持ちは大変嬉しく思います。